



第 6 号発刊にあたって

一般社団法人カリタス南相馬 代表理事 幸田和生

東日本大震災と原発事故から 14 年が経ちました。この間、地域の状況も人々のニーズも大きく変わってきました。全国から集まるボランティアに一宿一飯を提供することから始まったわたしたちの活動もさまざまな面で変化してきました。しかし、何ができるというよりも、ここに一緒にい続けること、それがわたしたちのミッションだとも感じています。その中で、小さなことであってもできることを見つけていくのがわたしたちの基本姿勢です。昨年は「カリタス食堂」と「カリタスイこいカフェ」を始めました。

全国・全世界でこの活動を支えてくださっている皆さまに感謝します。この地の様子を多くの方々に知っていただくこともわたしたちがずっと大切にしている活動です。「見さ来う（みさこう）南相馬！」。どうかこの地を見に来てください。ここを訪れ、今の状況と人々の思いに触れてください。カリタスの心をつなげて歩いていけますように。

ごあいさつ

カリタス南相馬 所長 根本摩利

カリタス南相馬の日々の活動を支えてくださっている全国の皆様に心から感謝申し上げます。昨年から新しく始めた「カリタス食堂」と「カリタスイこいカフェ」は、地元の方との交流をメインとしています。家族のように一緒にお食事をしたり、お茶を楽しみながら憩いのひと時を過ごせる空間をお届けできればと願っています。

地域のニーズの変化に伴い、事業内容を再編成致しました。1. ボランティア活動のコーディネート 2. 地域コミュニティの支援 3. 情報発信 4. 災害支援です。災害支援を新たな項目として取り上げたのは、近年災害対応の需要が増しているからです。3 年前の福島県沖地震、2 年前の秋田と福島県いわき市の豪雨災害時には、全国のボランティアの方と共に支援に赴きました。そして昨年起きた能登地震による災害時には、スタッフを交代で派遣することが出来ました。今後も災害時にはボランティアの皆様と共に、必要な支援活動を継続していきたいと思っています。どうぞ変わらぬご支援とお祈りをよろしくお願い致します。感謝のうちに・・・

（写真は、浪江町請戸漁港から見た初日の出です。）

活動の紹介

一般社団法人カリタス南相馬 2024年1月～12月の活動を紹介します。

1) 食事と宿泊の提供

宿泊を希望するボランティアと現地で学ぶことを希望する方々に宿泊場所を提供しました。
2部屋各6名、計12名を定員としています。

2) ボランティア活動のコーディネート

相双地区の施設や団体及び個人などからのボランテ

カリタス畑の草抜き

(京都暁星高等学校)



幼稚園園庭の除草作業

(仙台ウルスラ高等学校)



ィア要請(除草作業、障がい者施設の作業補助など)と、ボランティア活動希望者との活動調整を行いました。2024年1月に発

生した能登半島地震による災害支援にスタッフが参加。カリタス南相馬のボランティアさんにも「のどサポートセンター」へのボランティア参加を呼びかけ数人の方が参加されました。毎週土曜日には、旧避難区域である小高区の除草作業及び片付け作業等も継続しました。毎年継続参加している相馬野馬追祭の行列は、今年から5月開催となりましたが、小高神社からの依頼で19名が参加しました。南相馬市主催の植樹祭に参加したり、小高のコヤギファーム(ブドウ農園)において、ワイン用のブドウの収穫や木の剪定などの活動もしました。

相馬野馬追祭り行列ボランティア



コヤギファームでの剪定作業



3) 地域住民の交流の場の提供とイベントの企画及び運営



出前講座「手作り楽器で楽しもう」

南相馬市教育委員会事務局生涯学習課主催の「まちづくり出前講座」への登録を継続し、「生伴奏で歌いませんか」「手作り楽器で楽しもう」「パステルアート」の3講座への要請に応えました。カリタ

ス南相馬1階多目的室で開催している真こころサロンは、手芸をしながらお話をしたり、季節ごとに屋外に出かけたりと楽しいひと時をもつことが出来ました。また、手芸教室も定期的に開催できました。カリタス南相馬協力シスターによる「なんばんひろば」のサロン活動や「パステルアート教室」「英会話教室」なども継続しています。さゆり幼稚園の夏祭りや卒園生のための教会子ども会を聖心女子大学の学生さんと共に



ポッチャを楽しむ
真こころサロン

お手伝いしました。カリタス南相馬主催のコンサートは今年度は開催できませんでしたが、「手作り楽器で楽しもう」の出前講座の中でバイオリニストの武内良太朗さんによる演奏を聴いて頂く時間をとることが出来、学童保育の児童の皆さんに大変喜んで頂くことが出来ました。今年度から開催した「カリタスイこいカフェ」も地域の方々に喜んで頂いています。

教会子ども会（聖心女子大学）



4) サポートを必要としている子どもと大人の支援

活動の中で繋がりをもつことのできた支援の必要な方に、提供のあった生活用品や衣類などをお渡ししました。隣接するさゆり幼稚園からの要請に応え、おにぎり給食の提供を行ったり、園児と高齢者が交流する

災害公営団地への戸別訪問



機会も持つことが出来ました。小高区の災害公営住宅及び一人暮らしの高齢者を中心に、戸別訪問も継続しました。クリスマス時期には手作りのクリスマスカードやメッセージカードなどを子育て応援のお子さんや公営団地にお住いの高齢者の方、サロン参加者の方々にお渡しすることが出来ました。社会福

高齢者と園児の交流会



祉協議会のサロン活動や地元のサロン活動への参加も継続し、交流の場作りに協力しました。「カリタス食堂」は、幼稚園の預かり保育のご家庭や「子育て応援」で繋がったひとり親家庭の方を対象に開催し、参加した皆さんに喜んで頂くことが出来ました。

5) 持続可能な暮らしへの取り組み

持続可能な暮らしへの取り組みの一環としてコンポストの活用、カリタス畑における野菜作りも継続し、収穫された食材を幼稚園給食やカリタス南相馬での食事提供に活用しました。また、さゆり幼稚園園児のサツマイモの苗植え、成長見学、イモ掘りなどに畑を提供することが出来ました。

サツマイモ掘り



6) 東日本大震災と原発事故による被災地等の案内及び情報発信

東日本大震災と原発事故がもたらした福島の実地地の現状を伝えるため、震災遺構となった請戸小学校や東日本大震災・原子力災害伝承館、廃

震災遺構中浜小学校見学

(東星学園高等学校)



炉資料館、おれたちの伝承館などの見学を行うことで地震、津波及び原発事故による被災地の現状を見て頂いたり、住民の方のお話を伺う機会を提供しました。現地のイベントや復興状況などを Facebook や Instagram へ配信したり、「カリタスみちのく」や「東京教区ニュース」「カトリック新聞」などへ原稿を提供することでカリタス南相馬の活動内容や福島の現状報告を行いました。また依頼を受けて大学や教会などで福島の現状をお伝えすることも出来ました。



みこ 見さ来う 南相馬！

※ 浜通りの言葉で「見においで」という意味です。



「南相馬市風力および太陽光の
再生可能エネルギー事業」



「小高工房」小高とうがらしプロジェクト。
住民が栽培し、ひとつひとつ手作りして販
売しています。またシスターが場所をお借
りしてサロン「なんばんひろば」や「パス
テル教室」を開催しています。

◎鹿島



「南相馬市メモリアルパーク」
北泉海岸の高台にある慰霊碑です。

○桃内

◎小高

○磐城太田

◎原ノ町



「南相馬市消防・防災センター」
震災当時の様子や、市の対応などが時系
列にパネル化され、危機管理課の職員か
らお話を伺うこともできます。



「おれたちの伝承館」
展示するアーティストと来場者が一緒になっ
て、原発事故がもたらした教訓を我が事として
見つめ直し、語り紡いでいける場です。

カリタス南相馬の現地案内では、「見て、感じて、考えて」との思いから、皆様のご希望に合わせて半日から2日間程度でアレンジしています。記載以外にも相馬市伝承鎮魂祈念館や宮城県山元町震災遺構中浜小学校などのご案内も可能です。また予約されて現地の方のお話を伺うことも可能ですが、その際は販売物品の購入やご支援をお願いしています。



「震災遺構・浪江町立請戸小学校」

倒壊を免れた校舎に刻まれた津波の脅威と、全員避難することができた経験を伝えています。

◎浪江

◎双葉



「希望の牧場・よしざわ」

国からの殺処分指示に抗い、被曝した牛を生かし続け、命の意味を問うています。



「東日本大震災・原子力災害伝承館」

原子力災害を中心とした展示。また住民による語り部が被災体験や想いを語ります。



「福島第一原子力発電所」と「中間貯蔵施設」

除染で出た土壌等が保管されています。敷地内は企画される見学会の申込みが必要です。

◎富岡

◎大野(大熊町)

〇夜/森



「東京電力・廃炉資料館」

原発事故の記憶と記録・反省と教訓、廃炉現場の最新状況等を発信するために東京電力が運営する資料館です。



「中間貯蔵事業情報センター」

2025年3月15日「CREVA おおくま」内にオープン。展示や映像を通して、中間貯蔵事業の進捗や規模感を視覚的に伝えます。

新たな取り組み

「カリタス食堂」

これまでの活動や幼稚園を通して一人親家庭や生活困窮家庭の皆様と繋がりが出来ました。カリタス南相馬では日頃からボランティアやスタッフで夕食を一緒に食べていますが、それを地域にも広げ一緒に食べる時間や空間を作れないか・・・との思いから“親子食堂”を始めることにしました。名称は『カリタス食堂』開催日は毎月第2・第4水曜日で、時間帯は隣接する「さゆり幼稚園」の預かり保育の迎いの時間帯も考慮し17:30



カリタス食堂の様子



スタッフとシスターとで調理

～18:30の1時間とし30食限定で始めることにしました。メニューはどの世代の子ども達にも喜ばれるカレーライスがメインですが、2回/月の内1回は利用した子ども達の希望を取り入れ喜ぶようなメニューにしています。

初めての取り組みという事もあって、まずは「さゆり幼稚園」の預かり保育の子ども達と保護者、そして以前「子育て応援」の支援で繋がった親子に呼びかけを行いスタートしました。7月に開始してから12月末までの開催で、毎回10組あまりの親子が食べに來られ多い時には延べ30人になった時もあります。食堂の場所として1Fのホールに座卓を準備し、小さな子どもと保護者が一緒に食べやすくなる環境を作りハンバーグや鶏の唐揚げ、オムライスも提供してみました。子ども達には大好きなカレーやハンバーグ、唐揚げのメニューは好評で、『家のカレーよりカリタスのカレーが美味しい』と子どもからの感想や保護者から『家では野菜を食べないのにここで食べる姿を見て驚きました』とか『ここでゆっくり母親同士で話ができるのが嬉しい』等と感想を頂きました。



子ども達に大人気のメニュー

「カリタスいこいカフェ」



お茶をしながら和やかに集う

「カリタスいこいカフェ」は、隣接している「カトリック原町教会」の信徒の方が、これまでに繋がった地域の高齢者の為に集える場を作りたいという希望をカリタス南相馬と共同で形にして始めたものです。毎回教会の方が中心になり、絵手紙や手芸などをしながら楽しいひと時を作り、今後も継続しつつ、さらに多くの方々に周知し広げていけるように工夫していきたいと考えています。



手芸をしながら楽しいひと時

さゆり幼稚園とカリタス南相馬

カリタス畑で芋ほり



預かり保育見守り補助



ミュージックタイム
(音楽で遊ぼう)



おにぎりともそ汁給食



幼稚園バスでの送迎



お陰様で令和 7 年 4 月より市内の石神地区に新たな幼保連携型認定こども園さゆり幼保園として開園いたします。72 年の歴史を育んださゆり幼稚園は閉園となりました。本来であれば教会とカリタス南相馬と同じ敷地で新しく生まれ変わる園を望んでいましたが、東日本大震災後に経営母体であるドミニコ修道会より閉園の宣告が出されました。そこから、震災で傷つきながらも幼稚園の再開を望んでいた地域の方々の思いを大事に、学校法人を単独で取得し運営して参りました。しかし、園舎が老朽化し新園舎を建設するにあたり、土地の名義変更等について仙台教区に打診しましたが、結果として認められませんでした。

私たちはカトリックの精神を大切に、少しでも困難な状況にある人の助けになるように、地域と共にある幼稚園を目指してまいりましたが、二度に渡り突き放され、カトリックという宗教から離れる結果となりました。

震災以降、避難をせずに地域に残った子どもたちの教育を何とかしようと必死に頑張ってきた私たちにあたたかい手をさしのべ助けて下さったカリタス南相馬のスタッフの皆様には感謝の言葉しかありません。私たちはカリタス南相馬のスタッフに与えていただいた沢山の恵みを心の力として幼保園で子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。

長い間本当にありがとうございました。

(さゆり幼保園園長 鎌田文代)

さゆり幼稚園は自ら望んでこの地を離れたのではありません。さゆり幼稚園がなぜ移転しなければならなかったかを皆さんに知ってほしいという思いを込めて、鎌田先生はこの文章を寄せてくださいました。わたしたちカリタス南相馬はこの地域にある者として、これからもさゆり幼保園を応援し続けます。

(カリタス南相馬代表理事 幸田和生)

カリタス南相馬は

- ・東日本大震災と原発事故により、困難な状況におかれている人々とともに生き、すべての人々の尊厳が尊重される社会を目指します。
 - ・福島第一原発から25kmにある場として、福島の現実とそこに生きる人々の思いを世界につなぎます。
 - ・地球環境を大切に、自然との共存を目指します。
- ① 地域コミュニティの再創造に向け、地域の人々とともに働きます。
 - ② 原発事故がもたらした福島の厳しい現状と地域の日常の変化、いのちの尊さを学び、ともに祈り、伝えます。
 - ③ 自然とともに生きる暮らしの実現に向けて、生活を見直します。

2024年度会計報告

(2024年1月1日から12月31日まで) (単位:千円)

収入の部	金額	備考
受取会費	1,625	
受取寄付金／受取寄付金振替額	6,204	
受取助成金／受取助成金振替額	4,979	
受取利息／雑収入	2	
① 収入計	12,811	
支出の部	金額	備考
事業費(各事業費には、人件費含む)		
宿泊提供	4,758	
ボランティアコーディネート	2,391	
交流の場とイベント企画	1,517	
子どもと大人支援	3,191	
持続可能な暮らしの取組み	629	
現地案内・情報発信	2,918	
災害支援	143	
管理費	3,263	
② 経常費用計	18,812	
③ 当期一般正味財産増減額	△6,000	①-②
④ 一般正味財産期首残額	83,906	
⑤ 当期指定正味財産増減額	△1,242	
⑥ 指定正味財産期首残額	8,129	
⑦ 正味財産期末残高	84,786	③~⑥計

あたたかいご支援ありがとうございました。

目標：賛助会員5000人

賛助会員：207人 支援金：166件

＜カリタス南相馬 賛助会員 募集中＞

カリタス南相馬の活動を経済的にサポートして
くださる賛助会員を募集しています。

入会金 無料 年会費 一口5,000円 一口以上

会員特典 年1回発行のニュースレターを送付。
入会方法 カリタス南相馬にご連絡頂くか、下
記振替口座に氏名、住所、電話番号、賛助会員入
会、口数をご記入の上、年会費をお振込みくださ
い。

その他の寄付金も下記口座にお願い致します。

郵便振替口座 口座番号 02230-2-127643

口座名義 一般社団法人カリタス南相馬

ゆうちょ銀行二二九店 当座 (0127643)



カリタス南相馬だより 第6号

2025年4月1日発行

一般社団法人カリタス南相馬 発行責任者:幸田和生

〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町1-15

TEL 0244-26-7718 FAX 0244-26-8007

E-mail:info@caritasms.com

<https://caritasms.com/>

<https://www.facebook.com/caritas.minamisoma>